

銀座街づくり会議

http://www.ginza-machidukuri.jp

〒104-0061 中央区銀座4-6-1 銀座三和ビル3F

Tel: 03.3567.1535 / Fax: 03.3563.0236 / E-mail: info@ginza-machidukuri.jp

*メール配信をご希望の方はお知らせください*このNewsLetterは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています*本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます*

中央区では2012年6月に「中央区総合交通計画」をまとめ、その一環として基幹的交通システムの検討を開始しました。そのなかで、人口の増加する臨海部と都心部を結ぶ公共交通としてBRT（連結バス）やLRT（路面電車）を銀座に通す案が浮上しています。銀座街づくり会議では、これらの問題に対応するために、中央区からの説明会をお願いしたり、交通をテーマにしたシ

ンポジウムを開催してきました。

銀座は自転車（駐輪、マナー）、荷さばき駐車場等々、さまざまな課題をかかえています。歩いて買い物を楽しむ銀ブラの街として一層魅力を増し、各通り、街の価値をより高めていくために、交通問題を総合的に考えるための勉強会が始まりました。



銀座の交通グランドデザインを描くための勉強会が始まりました



銀座街づくり会議では中央区の提案に対応するため、中村文彦先生（横浜国立大学教授）をお願いして、銀座全体のモビリティデザイン（交通グランドデザイン）を構築するための勉強会を開始しました。モビリティデザインとは、たんに将来需要への対応のために道路整備や公共交通導入を計画するという従来型の発想ではなく、人々のまちでの過ごし方、まちに集う人々の移動（モビリティ）のあり方をふまえ、それを支える公共交通や道路整備を考えようという画期的な試みです。

第1回は7月25日、第2回は8月23日に行い、銀座街づくり会議のメンバーを中心とした十数名と、中央区環境土木部長に同席していただいています。

モビリティデザインを考える際に大切なことは、「銀座では、それぞれの交通手段はこうあってほしい、誰に利用してほしい」ということが、はっきりと見えることです。たとえば、銀座で自転車はこう使ってほしい、車でこういう人に来てほしい、など。

そして新しい交通手段が入れば、必ず他の交通手段に影響が出ます。仮にLRTが入ればこれまで車で来ていた人、バスで来ていた人は来なくなるのか。それともLRTに乗るようになるのかどうか。そのことによって来街者の性格が変わる可能性もあるでしょう。

あるいは他の通りに影響が出たり負荷がかかります。たとえばある通りにLRTが入ると、他の通りに自動車が行き止まるようになる可能性はないかなど。

そういったことを考えるためにまず、将来、銀座では各交通手段をどういう人に利用してほしいかということ

を整理することにしました。



次に、各通りごとの現況（基本イメージと交通手段の役割）と将来のイメージ戦略、交通手段の課題を整理します。たとえば、ある通りは落ち着いたイメージなので、歩行者がゆっくりと歩けるよう、自動車のスピード規制や、シャットアウトすべきではないかなど。

そのうえで、新しい公共交通手段としてBRT、LRTが導入された場合、描いたイメージに対して各通りにどのような負荷が出て、課題が生まれるか、が見えてくるはずですよ。

銀座ではこれまでも、自分たちの街の将来について皆で話し合う協議型まちづくりを行ってきました。交通のありかたについても行政に任せきりではなく、各通りの人たちと議論しながら、銀座の望むモビリティ将来像を発信し、それに外部要因への対応（環状二号线の開通、臨海部の人口増加等）をつきあわせ、専門的な交通計画へとつなげていきたいと考えています。

今後はこのような勉強会を月1回のペースで続け、年内に大きな方向性を出していく予定です。成果はシンポジウム等で発表していきます。

【お知らせください】

*各通りで将来こんな通りにしたいというイメージや、この通りではこんなことが問題になっている、というご意見や気づいた点があれば、銀座街づくり会議までお知らせください。

*これまでの勉強会の資料、中央区の資料等ご覧になりたい方は銀座街づくり会議までお問い合わせください。

